

## 主要生命保険会社の令和7年9月期決算の概要

### 1. 損益の状況（単体）

- 保険料等収入は、国内金利の上昇などにより一時払円建て保険の販売が増加したことなどから、前年同期に比べ増収。
- 中間純利益（純剰余）は、有価証券売却損の増加等によりキャピタル損益が悪化したものの、利息及び配当金等収入の増加を受けて基礎利益が増益したことなどにより、前年同期に比べ僅かに増益。

（単位：億円）

	令和5年9月期	令和6年9月期	令和7年9月期	前年比
保険料等収入	172,592	187,585	193,104	5,518
基礎利益	17,528	20,367	21,070	703
キャピタル損益	▲2,207	2,680	▲2,774	▲5,455
臨時損益	▲3,637	▲4,921	▲3,123	1,798
特別損益	▲1,078	▲2,734	788	3,523
当期純利益（純剰余）	7,496	10,946	10,991	44

### 2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、一部の社におけるデリバティブ取引の増加等による資産運用リスク相当額の増加などから、前年度末に比べ9.8%ポイント低下。

（単位：%）

	令和6年3月期	令和7年3月期	令和7年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	930.8	871.6	861.8	▲9.8Pt

（注）日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、大樹生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック生命、メットライフ生命、東京海上日動あんしん生命、第一フロンティア生命、三井住友海上プライマリー生命、プルデンシャル生命、三井住友海上あいおい生命、ニッセイ・ウェルス生命、かんぽ生命の21社を集計。